

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道	(2) 記載者氏名:	掛水 孝幸	会員番号:	13214	事務局整理記入欄	北海道 - 26
分水嶺区分	H041ピヤシリ山 ~ H038美深峠	(3) 山行日:	2004年 3月 20,21日	(4) 天候:	晴時々地吹雪 積雪 2m		

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
CL 鈴木 邦輝	非会員			CL 掛水 孝幸	13214	高橋 富美	非会員
SL 富樫 正悟	"			SL 幸田 昭	非会員	菊地 利明	"
国沢 悟	"			奥下 五一	"	菊地 澄子	"
				富樫 くみ子	"		
計				計			
3名				7名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: 21日:ピヤシリ山~高原沼~P983~美深峠 (20日:本隊のみ山頂避難小屋にて宿泊)

アプローチ:

地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	ピヤシリスキー場	ピヤシリ山										8, 9	
分水嶺到達点 H041	ピヤシリ山	"	142	26	1	44	35	2	998		7:27	B-4	
	高原沼	"	142	35	51	44	28	3	940	9:14	9:20	B-4	9
H040	P983	"	142	35	41	44	28	24	1,005	9:34	9:35	B-4	
	最低鞍部	仁宇布	142	37	20	44	31	0	458	11:58	12:00	B-4	
H039	P558	オシツツ	142	37	34	44	31	6	555	12:14	12:15	B-4	10
H038	美深峠	"	142	38	39	44	31	50	432	12:52		B-4	10
分水嶺離別点													
歩行終了点	分水嶺終点												
総歩行時間(休憩時間を除く):												5時間54分	
分水嶺距離:												12.7km	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H041	ピヤシリ山	1(本点)		良好	確認済み 三角点の名称:飛嶺岳
H040	P983				積雪のため、確認不能
H039	P558				"

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

ピヤシリ山頂より西方200mに避難小屋あり(冬季使用可)。山頂に標柱あり。

(9) 水および植生に関連した特記事項

ピヤシリ山はタケカンバが多く、樹氷が素晴らしい。
 高原沼より北へ下るとアカエゾマツが多く、最低鞍部付近からは巨木が多く見受けられる。
 モモンガの糞が多量にあったが、姿は確認できなかった。
 アカゲラの巣作りらしき穴が多く、木屑が散乱していた。

(10) その他の特記事項

峠の名称が、国土地理院の2万5千図では「美深峠」、現地には「松山峠」の道路標識がある。
 また、道有林の地図ではP558が「美深峠」となっている。
 *緯度、経度は、日本測地系による。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
